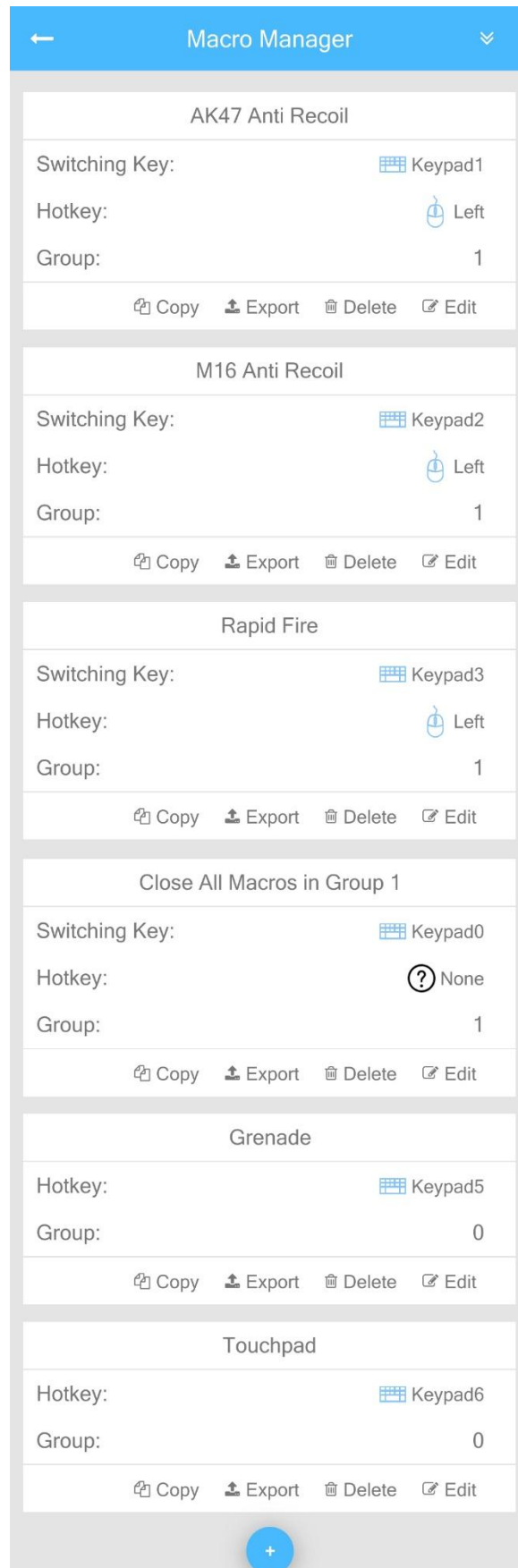


マクロ V1.3

1. マクロマネージャー

マクロの追加、削除、編集、エクスポート、またはインポートを行います。



2. マクロ用語

名称

マクロの機能によって覚えやすい名前をつけるのが一般的である。

切替キー：

切替キーはマクロを有効または無効にするために使用される。

マクロがアクティブ状態になると、アクティブキーによってアクティブ化される。

ホットキー：

マクロを実行する際に使うキーです。例えば、マウスの左ボタンは連発マクロや圧銃マクロを活性化するのによく使われる。

タイプ

2種類のマクロ、汎用、プレスガン(照準)がある。

圧銃(照準):圧銃マクロを作成する場合は、必ず圧銃を選択してください。圧銃マクロは照準を合わせた状態でのみ効果がある。

圧銃タイプのマクロを選択するとき、このマクロは自動的に圧銃効果に対して最適化することができ(ありえ)て、マウスはコントロールして比較的に便利だ。

汎用タイプ:圧銃マクロ以外のマクロは、汎用を選択すればよい

モード：

ホットキーでのマクロの実行方法です。

「長押し」、「押す」、「放す」、「トグル」の4種類あります。

保持用と反転用が多い。

保持:起動キーを押したまま、マクロが繰り返し実行される。

ロールオーバー:起動キーを押して、マクロはずっと繰り返し実行する。再度起動ボタンを押すとマクロが停止する。

押す:アクティブキーを押すと、マクロがいくつかの回数実行される

解除:アクティベーションキーを解除し、マクロが数回実行する

カウント：

マクロが繰り返して何回実行されるかを示します。このパラメーターはプッシュモードとドロップモードでしか使えない

終了：

マクロの終わり方です。

「即時」と「最終列まで」の2種類あります。このパラメータはホールドモードとロールオーバーモードでのみ

例えばマクロは5行ある。

アクティブキーが終了動作を起こすと、このマクロは3行目までしか実行されない。

「すぐに」を選択すれば、マクロはすぐに終了する。

「最後の行まで実行」を選択した場合、マクロは最後の行まで実行される。

グループ：

グループ0のマクロは常に全て有効です。その他のグループ(1~250)については、その内どれか1つのマクロのみ有効です。

このマクロを実行するには、切替キーでそれを事前に選択しておく必要があります。

グループは、例えば「プレイヤーが複数種類の銃を持っており、それぞれの銃に異なる反動抑制マクロや連射マクロが必要」といった場合に役立ちます。

マウスの左ボタンだけでこれらのマクロを全て実行できます。

これらのマクロは1つのグループ(例:グループ1)内に追加でき、例えば以下の様に異なる切替キーを割り当てることができます。

キー1: AK47の反動抑制マクロ

キー2: M416の反動抑制マクロ

キー3 連射マクロを有効にして

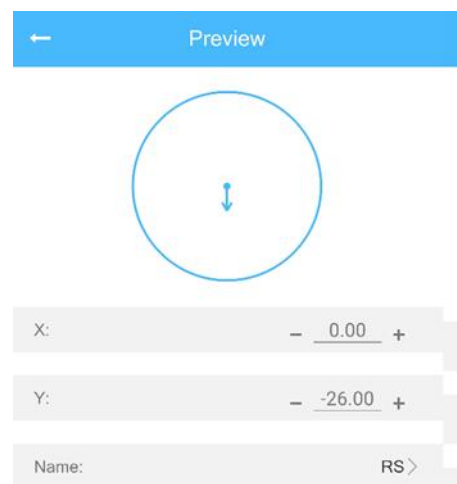
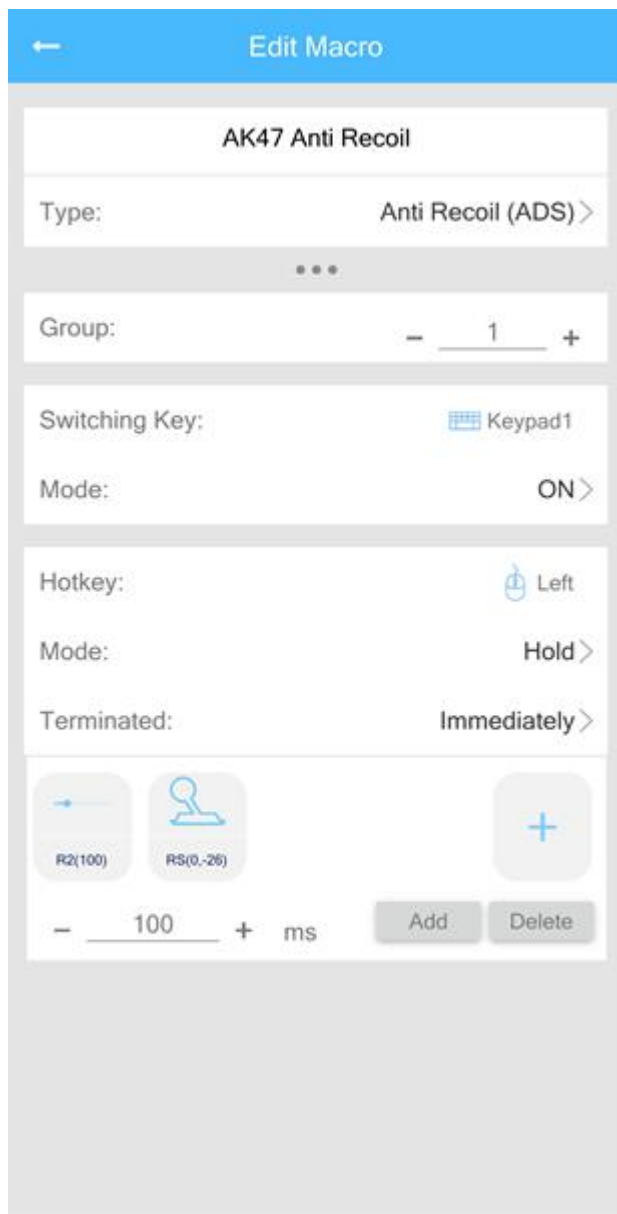
キー 0 は空のマクロである(切替キーはあるが、改造されたすべてのマクロを無効にするアクティブキーはない)。
武器を持ち替える際、キー 1~3 のどれかを押すことで状況に応じたマクロを実行できます。
キー 4 を押せばこれら 3 つのマクロを全て無効にできます。このとき、マウスの左ボタンは通常の状態に戻り、マクロの機能はない。

The image shows a screenshot of the 'Edit Macro' interface, which is divided into four panels, each representing a different macro configuration. Each panel has a blue header with a back arrow and the text 'Edit Macro'. The panels are:

- AK47 Anti Recoil:** Type: Anti Recoil (ADS) >. Group: - 1 +. Switching Key: Keypad1. Mode: ON >. Hotkey: Left. Mode: Hold >. Terminated: Immediately >. Includes a timer set to 100 ms and buttons for Add and Delete.
- M16 Anti Recoil:** Type: Anti Recoil (ADS) >. Group: - 1 +. Switching Key: Keypad2. Mode: ON >. Hotkey: Left. Mode: Hold >. Terminated: Immediately >. Includes a timer set to 100 ms and buttons for Add and Delete.
- Rapid Fire:** Type: Common >. Group: - 1 +. Switching Key: Keypad3. Mode: ON >. Hotkey: Left. Mode: Hold >. Terminated: Immediately >. Includes a timer set to 40 ms and buttons for Add and Delete.
- Close All Macros in Group 1:** Type: Common >. Group: - 1 +. Switching Key: Keypad0. Mode: ON >. Hotkey: None. Mode: Hold >. Terminated: Immediately >. Includes an Add button.

Each panel also features a 'Terminated' dropdown menu and a timer with 'Add' and 'Delete' buttons. The 'Close All Macros in Group 1' panel has a unique 'Hotkey' setting of 'None'.

3. マクロの例： 圧銃



このマクロの機能は、グループ 1 の中にあり、キー keypad1 を押すと、このマクロは有効になる。マウスを左クリックすると、銃を押さえる効果がある。キー keypad1 をもう一度押すと、このマクロは無効になる。

1 行目 1 つ目の要素

R2(100)はレバー R2 ボタンが押されたことを示す。力は 100%である。

1 行目 2 つ目の要素

RS(0, -26)は、右スイングが下に移動する力を示す。下に移動する力は-26 だ。つまり、銃を押さえる力だ。銃器によって、あるいは銃器のパーツによって、あるいはゲーム内の感度設定によって、この圧銃の力加減は自分で実際の状況に応じて調整する必要がある。圧力が足りなければ圧力の度合いを高める。押しすぎたら、押し力を小さくする。

この 2 つの要素は 100 ミリ秒で同時に実行され、左ボタンを押し続けると繰り返し実行される。

Anti Recoil(ADS) マクロは、ADS シナリオが有効になっている場合にのみトリガーできます。

使用している構成で ADS シナリオを有効にするための適切なホットキーがあることを確認してください。

None またはその他の不適切なボタンのままにしないでください。

コントローラーを使用する場合、このホットキーは、ゲーム内で ADS に使用される LT または L2 またはその他のものである必要があります。

マウスを使用する場合、このホットキーはマウスの右キーにする必要があります。



連射

← Edit Macro

Rapid Fire

Type: Common >

Group: - 1 +

Switching Key: Keypad3

Mode: ON >

Hotkey: Left

Mode: Hold >

Terminated: Immediately >

R2(100)

- 40 + ms Add Delete

- 40 + ms Add Delete

← Preview

Strength: - 100 +

Name: R2 >

このマクロの機能は連射である。これはグループ 1 に存在し keypad3 キーを押すと、有効になる。

1 列目：40 ミリ秒間、R2（強度 100%）を長押しします。

2 列目：40 ミリ秒間、全てのボタンを放します。

この場合、マウスの左ボタンを押している間はマクロが繰り返し実行されます。

マウスの左ボタンを放すとすぐに終了します。

グレネード

Edit Macro

Grenade

Type: Common >

Group: - 0 +

Hotkey: Keypad5

Mode: Press >

Count: - 1 +

Right +

- 600 + ms Add Delete

Right RS(70.70) +

- 600 + ms Add Delete

Preview

X: - 70.00 +

Y: - 70.00 +

Name: RS >

このマクロ（グレネード）は「Apex Legends」でグレネードを選ぶ際の例です。

1 列目：600 ミリ秒間、右ボタンを長押しします。

2 列目：600 ミリ秒間、右ボタンを長押しし、右スティックを倒したままにします。同時に、右スイングが角度に押され、600ms

キー 2 を押すと、このマクロが 1 度だけ実行されます。

タッチパネル

The 'Edit Macro' screen for a Touchpad macro is shown. It features a blue header with a back arrow and the text 'Edit Macro'. Below the header, the macro is titled 'Touchpad'. The configuration options are as follows:

- Type: Common >
- Group: - 0 +
- Hotkey: Keypad6
- Mode: Press >
- Count: - 1 +

At the bottom, there is a visual representation of the touchpad with a red dot indicating the target point, labeled 'TP(-79,4)'. Below this, there is a duration setting of '100 ms' and 'Add' and 'Delete' buttons.

The 'Preview' screen shows a blue header with a back arrow and the text 'Preview'. It displays a large white rectangle representing the touchpad area. Below the rectangle, the X and Y coordinates are shown as '-79' and '4' respectively. At the bottom, there is a toggle switch labeled 'press Touchpad:' which is currently turned on.

このマクロの役割は、タッチパネルの特定の位置で、タッチパネルを押すことである。

1 行目:タッチパネルの座標をある位置に移動する。ここが(-79,4)である。左側のほぼ中央である。100ms 押してキープする。
このマクロは、アクティブキー(キー Keypad6)を押下すると 1 回実行される。実行が完了すると、タッチパネルが自動的に外れる。